

# 東京湾海況情報 26-10

## 東京湾水質調査結果（平成27年1月）

（平成27年 1月19日発行）

千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 〒293-0042 富津市小久保3091  
 TEL 0439-65-3071  
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp  
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 1/7：内湾（ふさなみ）、内房海域（ふさみ丸）  
 関東・東海海況速報（1/7）、東京湾口海況図（1/7）  
 モニタリングポスト（1/7：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁）  
 東京都環境局（1/6）

### 【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温（図1）はおおむね9～12℃台で、平年並みからやや低めになっています。塩分はほぼ31～33PSU台前半で、依然平年より高めでした。

縦断面の鉛直分布（図3）では、水温・塩分ともは表層から水深20m付近までは一様に分布しています。

一方、内房海域の表層水温はほぼ12～16℃台前半で、水温15℃台の水塊が金谷から久里浜を結ぶライン付近まで及んでいます。

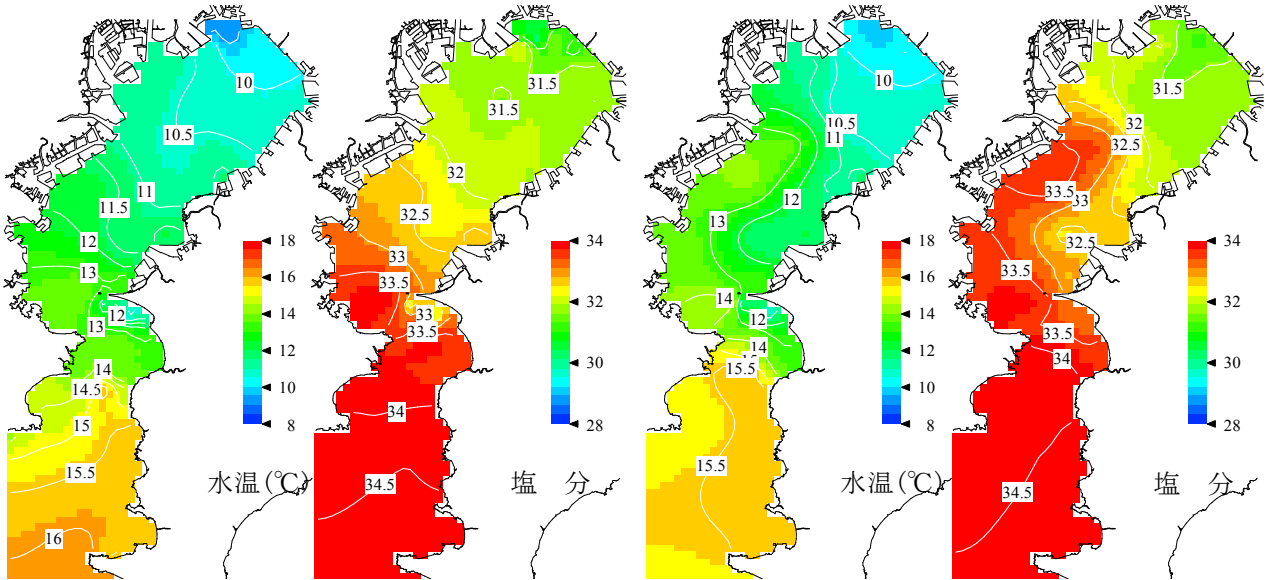


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

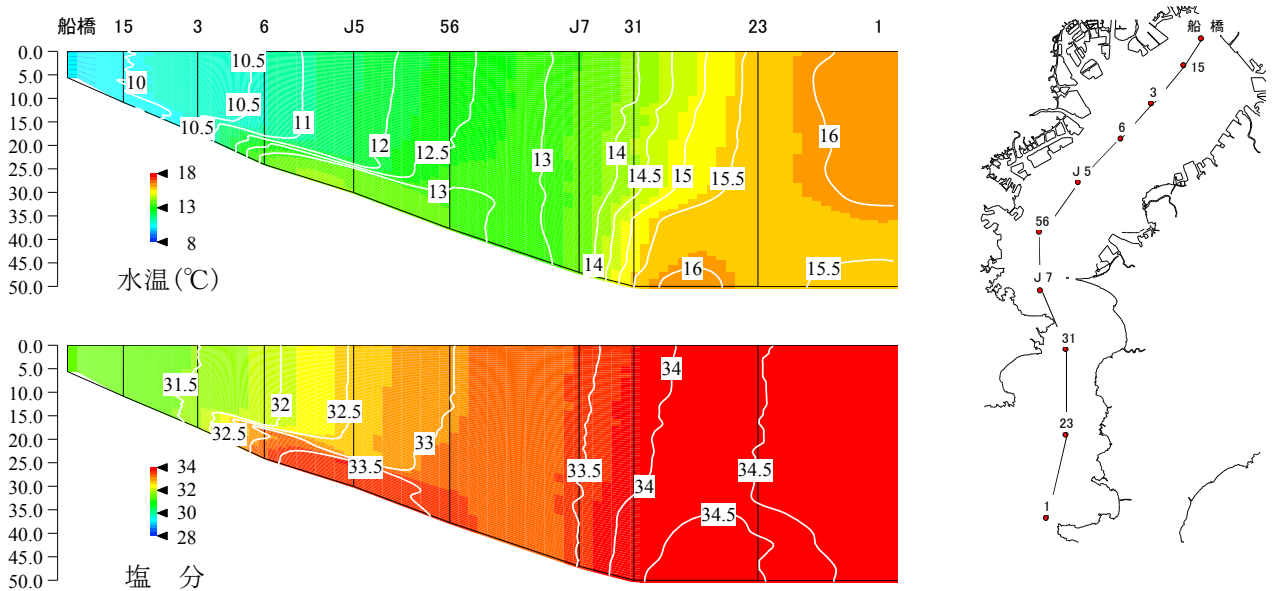


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布（上：水温、下：塩分、右：調査ライン）

### 【 赤潮の状況 】

赤潮は全域で発生していません。

プランクトンは依然少なく、船橋から千葉にかけての沿岸でケイ藻のスケルトネマ (*Skeletonema* sp.) やタラシオネマ (*Thalassionema nitzchioides*) などがやや多くみられる程度でした。

透明度は湾奥部で2m前後まで低下、水色もやや褐色を帯びていました。その他の海域では、時化による濁りでやや低いところのみ見たもののおおむね4m以上あり、水色はほぼ黄緑色でした。

保田から富浦にかけての海域ではケイ藻類が若干みられる程度でした。

※ 千葉県赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 $\mu\text{g/L}$ 以上

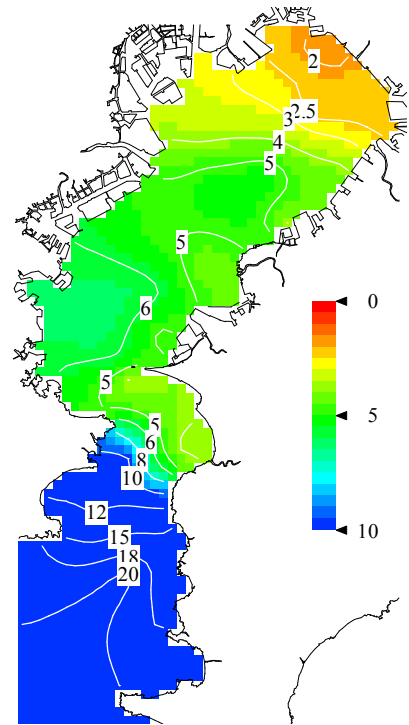


図4 透明度の分布 (m)

### 【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は全域で十分あり、貧酸素水塊は発生していませんでした。

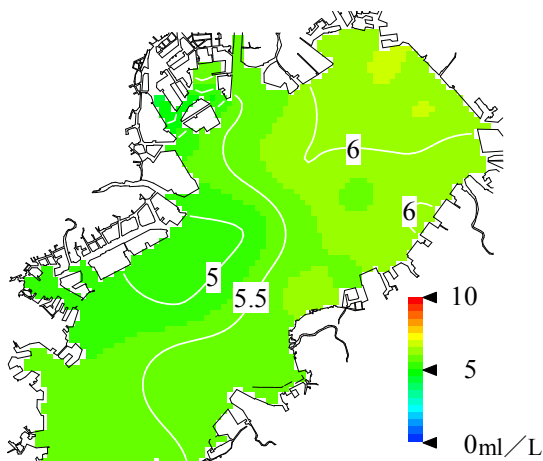


図5 底層部の溶存酸素量の分布 (内湾)

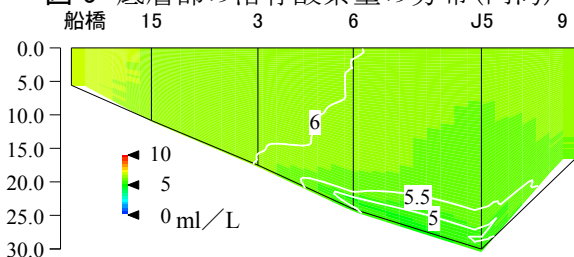


図6 縦断面の溶存酸素量の分布 (内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

### 【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン( $\text{PO}_4\text{-P}$ )ともほぼ全域で平年並みからやや多めでした。

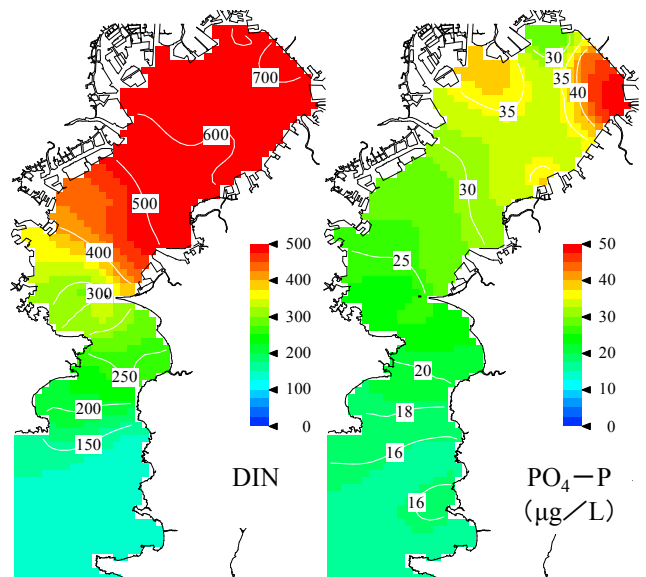


図7 栄養塩濃度の分布 (表層)

## 【黒潮の状況】

黒潮はB型基調に変わり、その流軸は7日現在御蔵島を通過した後、房総半島南東岸に接岸しながら東北東方向へ流れています(図8)。これに伴い、東京湾口に沖合水の流入がみられています。

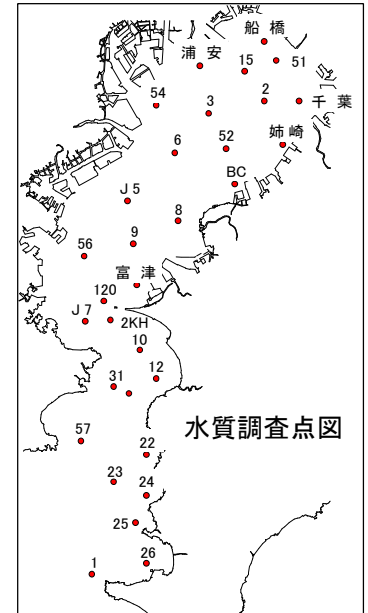
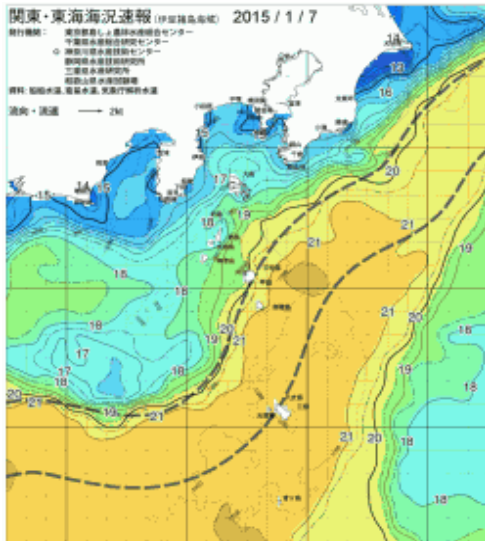


図8 黒潮の動き (平成27年 1月 7日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ): 最近10年間の平均値 (2005~2014年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	9.4 (10.0)	31.25 (30.48)	1.9 (2.7)	8.4 (8.4)	6.4 (6.6)	52 (66)	596 (565)	27 (24)
	st. 15	10.0 (10.4)	31.32 (30.76)	2.5 (3.9)	8.3 (8.4)	6.2 (5.9)	80 (49)	650 (497)	32 (22)
	st. 3	10.3 (10.8)	31.48 (30.70)	3.9 (4.0)	8.3 (8.3)	6.0 (5.5)	92 (71)	653 (587)	35 (24)
	st. 6	10.6 (11.1)	31.87 (31.28)	5.3 (5.2)	8.3 (8.3)	5.1 (5.3)	80 (38)	586 (467)	31 (20)
	st. 9	11.3 (11.3)	32.41 (31.50)	6.1 (5.6)	8.3 (8.3)	5.7 (5.7)	50 (39)	470 (443)	27 (21)
	st. BC (盤洲Cブイ)	11.4 (11.7)	31.76 (31.19)	4.0 (4.0)	8.3 (8.3)	5.7 (5.7)	110 (36)	619 (468)	38 (19)
	st. 8 (盤洲A南)	11.1 (11.3)	32.17 (31.46)	4.5 (4.5)	8.3 (8.3)	5.7 (5.3)	72 (27)	519 (424)	31 (19)
	富津	12.1 (11.6)	32.71 (31.47)	4.8 (5.3)	8.3 (8.3)	5.6 (5.8)	63 (33)	430 (397)	29 (20)
内房海域	st. 2KH (第2海ほ下)	12.6 (12.5)	33.21 (32.94)	4.0 (7.3)	8.3 (8.3)		39 (21)	331 (288)	25 (18)
	st. 31	14.0 (13.9)	33.70 (33.32)	10.0 (10.6)	8.2 (8.2)		13 (10)	237 (213)	20 (16)
	st. 23	15.5 (16.0)	34.47 (34.28)	20.0 (18.2)	8.2 (8.2)		4 (6)	121 (102)	15 (13)
	st. 1	16.1 (16.4)	34.56 (34.39)	20.0 (18.6)	8.2 (8.2)		8 (8)	113 (88)	16 (11)
	st. 10 (下洲沖)	13.1 (13.5)	33.45 (33.52)	4.5 (9.4)	8.3 (8.2)		19 (13)	276 (224)	22 (19)
	st. 12 (湊沖)	13.3 (12.9)	33.64 (33.33)	4.0 (8.8)	8.2 (8.2)		18 (11)	245 (200)	21 (15)
	st. 22 (保田沖)	15.6 (15.7)	34.42 (34.06)	16.0 (15.5)	8.2 (8.2)		5 (8)	128 (112)	16 (13)
	st. 24 (富山沖)	15.6 (16.3)	34.42 (34.19)	16.0 (18.5)	8.2 (8.2)		6 (7)	128 (92)	16 (11)
	st. 26 (館山湾内)	15.9 (16.1)	34.55 (34.34)	19.0 (18.1)	8.2 (8.2)		4 (7)	110 (88)	16 (11)

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。